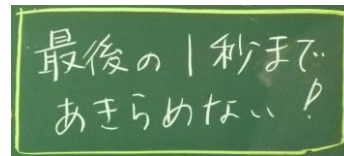


進路選択の支援のために



期末テスト初日の後ろ姿

今日で3年生の2学期期末テストが終わりました。桜中祭を終えて『進路』という言葉と向き合いながら蓄えてきた力を存分に発揮することはできたでしょうか？ テスト期間中のご家庭でのバックアップもお疲れ様でした。

さて、過日行いました進路説明会にお越しくださりありがとうございました。全体の中ではなかなか質問しづらいことが多いと思います。何かございましたら、ご遠慮なく、担任や学年の職員へお声掛け下さい。

来年度は県立高校改革の2年目となり、その内容は中学に在学中のどの学年の子たちにも関わります。各高校がどのような取り組みを進めていくのかなどの情報は、県教育委員会のHP (<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6556/>) の中で見るすることができます。また、各校で実施される学校説明会のほとんどは、どの学年の保護者の方も参加できます。時間をかけながら、保護者の方も生の情報をぜひ取得して行って下さい。

進路指導（進路選択の支援）について（進路説明会でお話したこと）

- 人生初の大きな自己選択
- 進路選択に影響を与えるもの
 - ①各種の情報：友達、先輩、塾、親、ネット、各種資料、希望校での説明会等
 - ②現実の条件：学力（子の現実）、費用（親の現実）、通学距離
 - ③親の思い：我が子を思う気持ち、親の価値観・願い、接し方（言葉、雰囲気）
- 親がやってはいけないこと……我が子の否定、上から目線
 - ①否定語：過去の否定、現在の否定、未来の否定
 - ②我が子に判断させない
 - ③併願の可能性がゼロでないのに、併願を否定し続けていく
- 親がやること・できること……支援・バックアップ
 - ①管理：健康、スケジュール、金銭面
 - ②情報整理のアドバイス
 - ③冷静かつ適切な距離感・判断



我が子に力が湧いてくるように ⇒ プロセスの評価・絶対評価
入口探しの指導でなく、出口探しの支援



活躍しています！



来年度本部役員選挙：選挙管理委員会が昼と放課後に受付しました

10月20日の第1回選挙管理委員会から、今年度の業務が始まりました。

今は、11月15日の投票に向けて、仕事を進めています。



野外造形展11月3日市民の日：楽しい作品が並びました



1年生の美術の授業で制作した色とりどりの仮面が会場に展示されました。各作品の写真は学年の廊下に掲示してあります。お越しの折にご覧ください。

インターナショナルフェスティバル11月5日：7人が参加しました



他国の方々との交流の時間を楽しみました。

本校 ALT の Ben Matthews 先生もいられ、他校の人達からの話を楽しく聞かれていました。



薬物乱用は「ダメ。ゼツタイ。」



11月8日（火）に、秦野あずまライオンズクラブ会長で薬物乱用防止教育ゴールド認定講師の阿蘇佳一さんをお迎えして、2年生を対象に『薬物乱用防止教室』を行いました。

- 薬物は、脳の働きや人体の正常な機能を壊してしまう。
- 依存性が強く、やめたくてもやめられなくなる。
- 未成年で薬物に手を出した人は、再犯率が非常に高い。
- 最近では、大・高・中・小学生にまでも広がってきている。
- 乱用者からの被害（殺傷事件・交通事故等）が増えている。



自分だけでなく、家族や周りの人の人生も壊してしまいます。

薬物標本